

2019/9 Vol.16

水戸赤十字病院広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表) <http://www.mito.jrc.or.jp>

ご自由にお持ちください **Take Free!**

虹

にじ

虹の由来/架け橋となるような広報誌を目指します。



産婦人科における 低侵襲手術について

～ロボット支援子宮全摘術の保険診療が開始しました～

令和元年度8月 高校生1日看護体験の様子

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



日本赤十字社 水戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

診療科紹介Vol.16 内科

症状がないから・・・は危険!

寄り道コラム ～file8～

CT検査で何がわかる?

2019年度地域医療連携懇親会を
開催しました

産婦人科における低侵襲手術について

～ロボット支援下子宮全摘術の保険診療が開始しました～



第2産婦人科部長 竹中 慎

はじめまして、産婦人科の竹中 慎と申します。今回、産婦人科におけるロボット手術の取り組みについてご紹介いたします。

これまで私たちは、産婦人科腹腔鏡手術の積極的な導入に力を注いできました。腹腔鏡手術は従来の開腹手術に比べて、患者さんにとって出血量や痛みの減少、早期回復、創が小さいというメリットがある一方、医師にとっても、拡大した視野を得ることで精緻な手術ができることや、臓器を避けて深部への到達が容易になるというメリットがあり、患者さん、医師、両者にとって大きな恩恵を得られる手術方法です。

当院産婦人科での腹腔鏡手術数は2017年より300件を超える症例数となっています(図1)。また悪性腫瘍に対する導入も行っており、子宮体がん、子宮頸がんに対する保険診療の施設認定を取得しております。また子宮脱など骨盤臓器脱に対する腹腔鏡手術も行っております。この実績を踏まえて、2018年10月より産婦人科疾患に対するロボット支援下手術(以下ロボット手術)を導入しました。

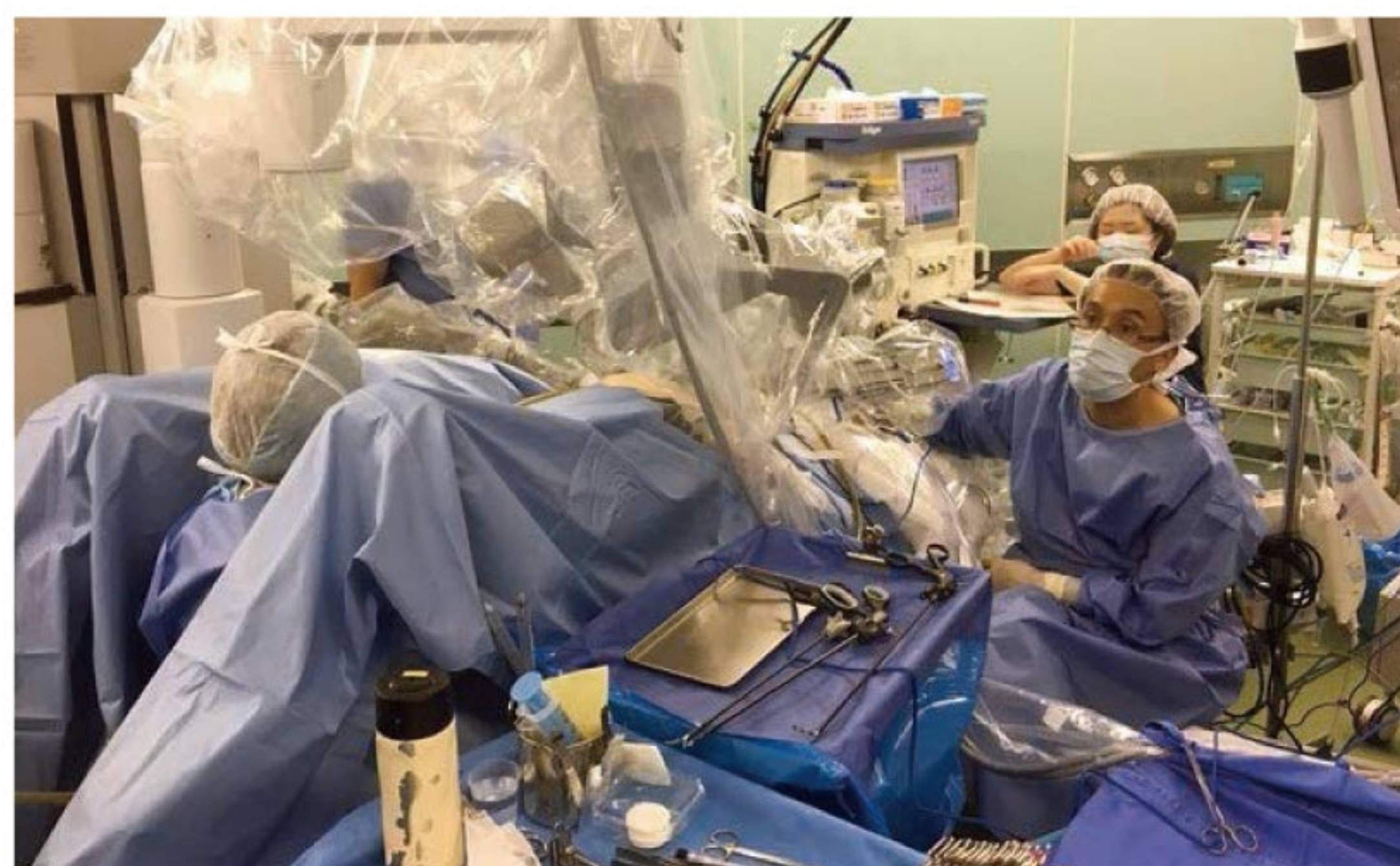
ロボット手術では、ダヴィンチサージカルシステム(以下ダヴィンチ)という手術支援ロボットを用い、腹腔鏡手術を行います。手術支援ロボットは、従来の腹腔鏡手術を支援する



ために開発されたロボットで、医師がサージョンコンソールと呼ばれるコクピットに座って操作することによって患者さんの腹腔内に挿入したロボットアームが連動してスムーズな手術を可能にしています。つまりロボットが自動的に手術を行うわけではなく、実際に手術を行うのは医師ですのでご安心ください。術者は自然な奥行き感が得られる三次元による画像を見ることができ、手振れ防止機能と自由に曲がる多関節鉗子で従来の腹腔鏡手術で弱点とされていた点を克服し、さらに安全で精緻な手術を行える可能性があります。

ダヴィンチは、米国にて1997年に医療機器として認可され、日本では2012年に泌尿器科分野で保険収載されました。2018年4月には様々な診療科で12の術式が保険収載され、産婦人科でも子宮体癌だけでなく子宮筋腫などの良性疾患も適応となりました。当院においては2013年から泌尿器科、2016年には外科においてロボット手術を導入しております。

保険診療にてロボット手術を行うには手術実績などの要件を満たすことで保険診療の施設認定を取得できます。



当院産婦人科は2019年7月に良性疾患のロボット手術における施設認定を取得いたしました。また2019年9月ごろには子宮体癌における施設認定を取得する予定です。

これらの手術を行うには、骨盤解剖、手術手技、腹腔鏡手術に精通していることが重要で、日本内視鏡外科学会の技術認定医、婦人科腫瘍学会専門医、ロボット手術の術者認定の資格を持つことが推奨されております。当科ではこの3つの資格をすべて保持している医師が二名在籍しております。また定期的に昭和大学からロボット手術を専門としている松本光司教授、石川哲也講師を招聘して、安全性の維持に配慮しています。今後も昭和大学から定期的に医師の派遣が行われ、継続して産婦人科のダヴィンチ手術の提供が可能な見通しです。なお、ロボット手術には複数の医師、スタッフ(合計9名)が必要となります。手術の質を高めるために、我々は日々チームワークの向上に努めております。



我々はこのロボット手術が次世代の有望な治療となりうると確信し、安全に手術が遂行できることを最優先としながら行っていきたいと考えております。また茨城県での先駆けとして、県内でのロボット手術、腹腔鏡手術の普及、発展にも努めていきたいと思っております。今後とも当院産婦人科を応援していただければ幸いです。

内科 Internal medicine

症状がないから・・・は危険！

日本糖尿病学会専門医 三村 真貴代



長女5才画

日本の成人の4人に1人が糖尿病または予備軍となってしまいました。とても身近な病気です。しかし、初期には自覚症状がほとんどありません。症状がないから・・・と放置しておくとならば神経障害、網膜症、腎症、動脈硬化症などの多彩な合併症を引き起こします。症状がないから大丈夫・・・と放置せず、できるだけ早期からより良い血糖コントロールを目標に治療を開始することがとても重要です。

さて、近年、様々な治療薬がでてきました。しかし、これらの薬剤の効果を最大限に引き出すためには、生活習慣の見直しと是正がとても大切です。そのためには毎日決まった時間に体重を測定し、適正体重を維持するように努めましょう。また、食事は食品交換表に基づいて摂取単位を守りましょう。運動は有酸素運動に筋肉トレーニングを加えると効果的です。

糖尿病の主治医は患者さん自身です。患者様の意識と行動

によって血糖値をコントロールすることが可能であり、正常な血糖値を保つことも可能です。ただし、糖尿病の病態は体調や時の経過とともに変動し変化していきます。患者様が主体となって治療を継続できるよう、当院では外来での栄養指導、療養相談、フットケア、インスリンや血糖自己測定の導入のための教育を、医師、糖尿病療養指導士の資格を持った看護師、栄養士、薬剤師とともにチームによりサポートさせていただきます。

重度の合併症を持った患者様やインスリン治療が必要な患者様以外にもご希望があれば教育入院を実施しておりますのでお気軽にご相談ください。健診で血糖異常や尿糖を指摘された、口渇、夜間頻尿がある、最近急激な体重減少を認めている、など何か思い当たる症状がありましたら、まずは受診してみてください。

file.8

寄り道コラム

当院では、主に外来患者の皆さまに向けた疾病予防・健康増進の情報提供の場として、「寄り道講座」を月2回程度実施しています。当コラムではその内容についてご紹介します。

CT検査で何がわかる？

診療放射線技師 朝倉 佐知子

CT検査はX線を用いて体の中を断面で見る検査です。画像は白黒の濃淡で描出され、例えば空気の多い肺はX線を透過しやすいため黒く、逆にX線をあまり透過しない骨などは白く写ります。正常組織との濃度差があまりない病変や小さな病変をよく見たい場合、造影剤を用いる場合もしばしばあります。

通常脳は様々な濃さの灰色に写りますが、新しい出血があると白く描出されるため、すぐに判断できます。また、造影剤を用いて血管を描出し出血部位(動脈瘤破綻部位)を見つけることも可能です。

画像による病気自体の鑑別診断だけでなく、他臓器への進展(転移)の程度も同時に知ることができるのがCT検査の特徴でもあります。例えばマンモグラフィで乳癌が見つかった場合、CT検査では胸からお腹まで撮影することで、癌のある乳房だけでなく転移しやすいとされるリンパ節や肺・肝臓など複数の他臓器の状態を同時に調べることも可能です。

最初に描出されるのは輪切りの画像ですが、画像処理によって縦や斜めなど多方向から描出し直したり、3D画像も作成できます。



必要な骨や血管のみを選んで抽出することで、病変の栄養血管の走行が立体的に観察できるため、手術計画に用いられることもしばしばあります。

一方、これだけ有用なCT検査ですが、急性期の脳梗塞の場合は、CTでは画像変化に乏しいためMRI検査の方が優位とされているなど、病変に応じた最適な検査の選択が重要です。不安や心配がある方は、おかけの診療科の先生にご相談ください。

地域医療連携課

2019年度地域医療連携懇親会を開催しました

2019年7月11日(木)ホテルテラス ザ ガーデン水戸にて、「2019年度地域医療連携懇親会」を開催しました。

第一部の講演では、当院の産婦人科 竹中部長が「産婦人科低侵襲手術(ロボット、腹腔鏡)への取り組み」をテーマに講演を行い、続けて茨城県水戸保健所 所長 土井 幹雄先生により、「地域医療構想～公的病院の役割について～」をテーマに講演を行いました。



講演会 会場風景

竹中部長の講演では、ロボットを使用した手術動画や、最新の4D超音波等を紹介し、当院の産婦人科のPRをさせていただきました。

また、土井先生の講演では、水戸医療圏及び周辺の今後の人口推移に伴い、今後当院のような公的病院がどのような役割を期待されるか説明があり、参加された先生方も真剣に耳を傾けている様子でした。

第二部の懇親会では、当院の佐藤院長の挨拶の後、来賓にてご参加いただいた、常陸太田市医師会 小林会長、水郡医師会 櫻山会長、那珂医師会 小野瀬会長、県央医師会 會澤会長、鹿島医師会 松倉会長、水戸市歯科医師会 櫻川副会長、茨城県柔道整復師会 竹藤会長を紹介させていただきました。続けて、



懇親会 会場風景

水戸市医師会 原会長より乾杯のご発声をいただきました。

今回は、院内外から169名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

この席でいただいたご意見等を活かし、今後、より一層の親密な医療連携を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

就任のお知らせ【令和元年7月1日付】

整形外科	小方 陽介(オガタ ヨウスケ)
産婦人科	中村 豪(ナカムラ タケシ)

上記の職員が新たに就任しました。よろしくお願いいたします。

退職のお知らせ【令和元年6月30日付】

整形外科	市原 琢己
産婦人科	塩谷 茉智子

上記の職員が退職いたしました。大変お世話になりました。

紹介状持参のお願い



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

お持ちでない方は

選定療養費5,400円(税込)が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアいたします。ハイリスクでない方も、里帰り分娩の方も、当院でのお産を歓迎いたします。受診を希望する妊婦さんからの電話予約も可能ですので、産科へお問い合わせ下さい。

